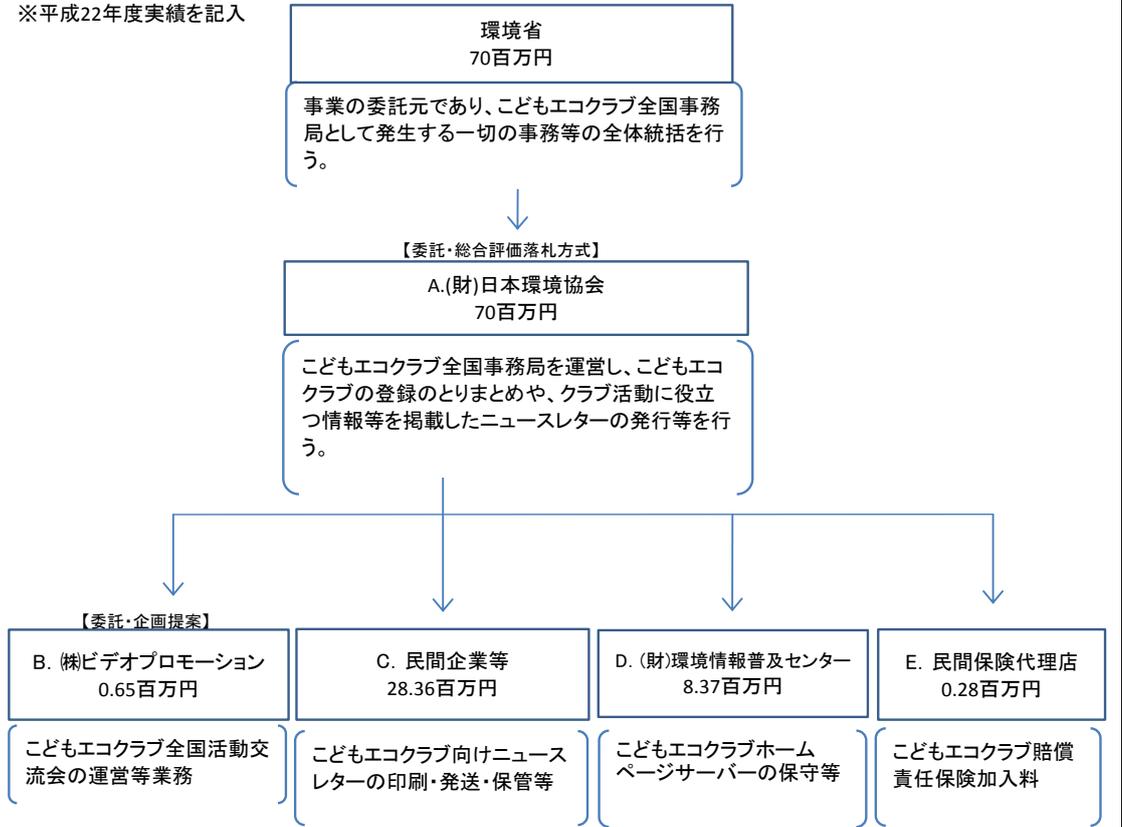


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	こどもエコクラブ事業		<b>担当部局庁</b>	総合環境政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成7年開始		<b>担当課室</b>	環境経済課環境教育推進室		環境教育推進室長代行		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	8-4 環境教育・環境学習の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>			<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	次世代を担う子どもたちが自主的に行う環境保全活動及び環境学習を支援することにより、人間と環境の関わりについての幅広い理解を深めるとともに、環境を大切に思う心を育成する。また、子どもたちが広く環境に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解することで、環境保全活動に参加する態度や環境問題の課題解決に資する能力を育成すること等を目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	幼児から高校生までの2人以上の子どもとそれを支える大人で形成するグループを「こどもエコクラブ」として登録、そのクラブが主体的に行う環境保全活動及び環境学習を支援する。具体的には、①こどもエコクラブウェブサイトにおいて、クラブの活動報告の掲載や活動に役立つ環境学習情報・プログラムの提供②子ども向けに最新の環境問題等を解説した記事やクラブの活動に役立つ情報等を掲載したニュースレターを年4回発行③全国のこどもエコクラブ活動を記録した壁新聞のコンテストや活動を紹介し合う交流会を開催							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	77	77	75	0	-	
	執行額	68	77	70				
	執行率(%)	88%	100%	93%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)
	こどもエコクラブへの参加人数25万人を目標としていた(目標年2015年)		成果実績	人	184,710	179,413	173,059	250,000
	日本の小学生生徒数(700万人)及び中学生生徒数(約360万人)の合計数は約1,060万人であり、25万人とは学校の平均的な1学級40人クラスに1人がこどもエコクラブに参加している状況		達成度	%	73.8	71.7	69.2	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	こどもエコクラブへの登録クラブ数・参加メンバー数		活動実績 (当初見込み)	クラブ人	4,126 184,710	3,636 179,413	3,223 173,059	—
<b>単位当たりコスト</b>	388(円/人)		算出根拠	平成22年度こどもエコクラブ事業予算額75百万円を同年参加メンバー数173,059人+サポーター数19,827人で除したもの				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度行政刷新会議において、環境教育の必要性は認められたものの、全国的に地域のNPO等を中心に十分普及してきており、廃止すべきと整理された。
	△	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績は着実に向上していたが、平成22年度行政刷新会議において、普及程度は低く、環境教育の具体的な成果目標がないままの事業継続はやめるべきと整理された。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	△	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度行政刷新会議における「廃止」の結果を受け、平成22年度をもって事業を終了した。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	事業仕分けでの廃止判定を踏まえ、22年度限りで廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>【事業情報】 事業仕分け第3弾 事業番号8-(3) こどもエコクラブ事業</p> <p>【WG評価結果】 廃止</p> <p>【とりまとめコメント】 本事業の評価者12名のうち、廃止が11名、予算要求縮減が1名、その1名は半額縮減であった。環境教育そのものは必要だがこの数年間の成果、あるいは公開プロセス以降の環境省の姿勢を見るにつけ、成果・効果が不明であり、必然性がなく、手段についてもきちんとした検証が行われていないと思われる。また、事業として税金を使うのではなく、国はアドバイザー役に徹するべき、あるいは既に活発に活動している自治体やNPOに移管すべきといった意見があった。以上を踏まえてWGの結論としては廃止としたい。ここには、公開プロセスに出席したメンバーもいるということも踏まえ、大変重たい結論であると認識していただきたい。</p>			

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.(財)日本環境協会			E.民間保険代理店		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	日本環境協会全国事務局業務	19.98	—	—	0.28
謝金	壁新聞コンテスト審査員謝金等	0.21			
旅費	壁新聞コンテスト審査員旅費等	0.34			
賃金	こどもエコクラブ全国事務局業務補助	2.43			
雑役務費等	印刷製本、通信運搬、消耗品購入、サーバー保守等経費	27.30			
委託費	株ビデオプロモーション こどもエコクラブ全国活動交流会の運営等業務	10.24			
その他	一般管理費等	9.30			
計		70	計		0
B.(株)ビデオプロモーション			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
—	—	0.65			
計		1	計		0
C.民間企業等			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費等	こどもエコクラブ向けニュースレターの印刷・発送・保管等	28.36			
計		28	計		0
D.(財)環境情報普及センター			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費等	こどもエコクラブホームページサーバーの保守等	8.37			
計		8	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本環境協会	こどもエコクラブの登録やクラブ活動の取組紹介、情報発信など	70	1	96%

B.

1	(株)ビデオプロモーション	全国活動交流会の運営補助業務	0.7	見積合せ	—
---	---------------	----------------	-----	------	---

C.

1	(株)朝日学生新聞社	ニュースレターの制作・印刷	13.7	随意契約	—
2	(株)長谷川	保護者用マニュアル、活動報告書等の梱包・発送	3.4	随意契約	—
3	(株)第一印刷所	エコログ、マニュアル、アースレンジャー認定証、報告書、発送用封筒等の印刷	3.2	見積合せ	—
4	(株)天賞堂	メンバーズバッジ等の制作	2.4	見積合せ	—
5	ピーエムアール(株)	ニュースレターの梱包・発送	2.1	見積合せ	—
6	(株)クラップス	ポスター、パンフレットの印刷等	1.9	見積合せ	—
7	ニューテック(株)	会員システムの改修	0.5	随意契約	—
8	(株)トランス	活動支援グッズの制作	0.4	見積合せ	—
9	佐川急便(株)	マニュアル追加の発送	0.4	随意契約	—
10	郵便局	スターターキット等発送	0.3	随意契約	—

D.

1	(財)環境情報普及センター	サーバーの保守等	8.4	総合評価落札方式	99%
---	---------------	----------	-----	----------	-----

E.

1	民間保険代理店	賠償責任保険加入料	0.3	随意契約	—
---	---------	-----------	-----	------	---